

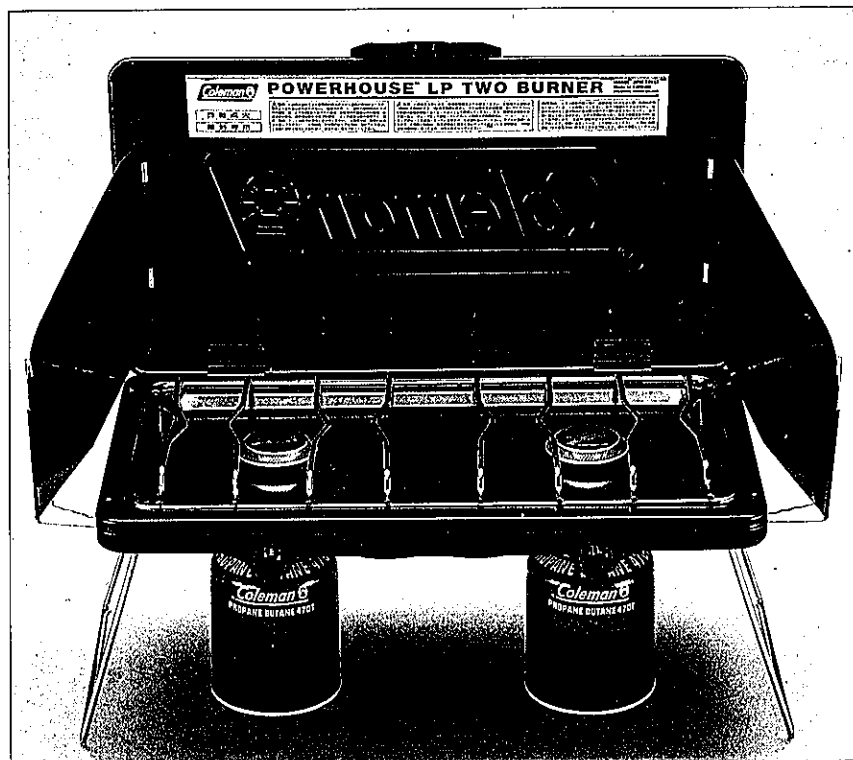


パワーハウスLP ツバーナーコンロ

保証書付

保証書は、この取扱説明書の裏表紙についています。

取扱説明書





もくじ






警告	2
注意	3,4
各部の名称	4
ご使用の手順とご注意	5,6
仕様	6
日常の点検, お手入れの方法	7
故障・異常の見分け方と処置の方法	7
保証書	8

このたびは、パワーハウスLPツバーナーコンロをお買いあげいただき、まことにありがとうございます。
ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みのうえ、正しい方法でご使用ください。
お読みになったあとも、この取扱説明書及び保証書を大切に保存してください。
修理・補償を受ける際に必要になります。

※ご使用前に、次の「安全のために必ずお守りください」をよくお読みの上、正しくご使用ください。
※製品を正しくお使いいただくためや、あなたや他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するためにこの取扱説明書および製品への表示では、いろいろな絵表示をしています。その意味は次のようになっています。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される場合を表しています。
 注意	この表示を無視して誤った取扱いをすると、使用者が傷害を負う可能性が想定される場合、および物的損害のみの発生が想定される場合を表しています。

絵表示について次のような意味があります。

-  一般的な禁止
-  一般的な注意
-  必ず行う
-  接触禁止
-  火気厳禁

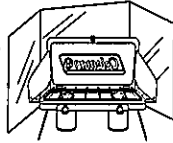
警告

安全のために必ずお守りください。

ガスカートリッジ (容器) とその取扱いについて

1. 以下のような使い方は厳禁！ガスカートリッジ (容器) が過熱し爆発の原因となります。

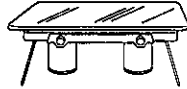
● 風防、鉄板や岩などで囲うような使用



● 炭の火起こし、セラミック・溶岩等の熱を蓄える恐れのある鉄板等の使用



● グレート (ごとく) より大きな鉄板・鍋等ツーパーナーをおおってしまう物の使用禁止



禁止

● ツーパーナーを2台以上ならべての使用、他のコンロ火気・焚火のそばでの使用



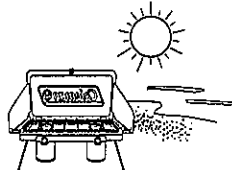
禁止



● 夏の砂浜など日光によってガスカートリッジ (容器) が過熱するような場所での使用



禁止



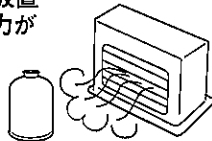
● その他、ガスカートリッジ (容器) が過熱するような行為

2. ガスカートリッジ (容器) は熱気のある所に放置しないでください。

● ガスカートリッジ (容器) はファンヒーターの前など熱気のある場所に放置しないでください。熱で容器の圧力が上がり爆発の原因となります。



禁止



3. ガスカートリッジ (容器) を火中に投げないでください。熱で容器の圧力が上がり爆発の原因となります。



禁止



4. ガスカートリッジ (容器) は風通しの良い湿気の少ない40℃以下の場所に容器キャップをはめて保管してください。また器具使用後は必ずガスカートリッジ (容器) を取り外して別々に保管してください。

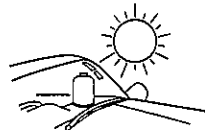


禁止

5. ガスカートリッジ (容器) は火気の近くや直射日光 (室内や車内の窓際など) の当たる場所等40℃以上になる場所に放置しないでください。熱で容器の圧力が上がり爆発の原因となります。



禁止

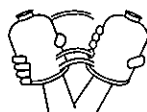


6. 使用済みガスカートリッジ (容器) の処理について
使用済みガスカートリッジ (容器) は、キャンプ場等に放置せず必ず持ち帰り、下記の要領に従って処分してください。

● ガスカートリッジ (容器) を振ってサラサラと音のする場合には、まだガスが残っています。そのまま温度の高い所に放置したり、火中に投入すると爆発し危険です。



必ず行う



● ガスカートリッジ (容器) は完全に使い終わってから、他のごみと区分して捨ててください。

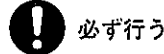


不燃ゴミの中でも別に!!



必ず行う

● ガスカートリッジ (容器) にまだガスが残っている場合は、使い切ってから捨ててください。



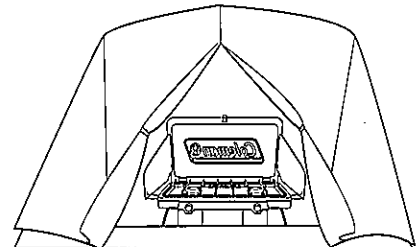
必ず行う

使用場所の注意

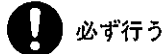
1. この器具は屋外専用です。屋内・車内・テント内等では使用しないでください。



禁止



2. 使用中は、換気には充分注意してください。

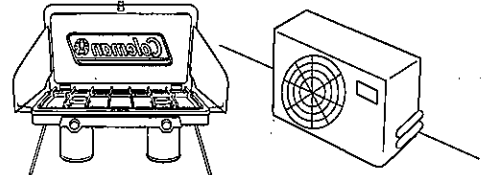


必ず行う

3. 冷暖房装置の吸い込み口付近では使用しないでください。燃焼の妨げになります。



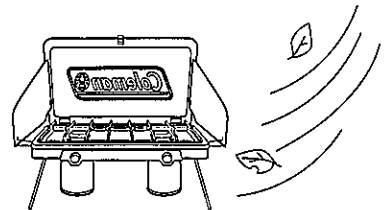
禁止



4. 風の強い所での使用は避けてください。風で火が吹き消される事があり危険です。



禁止



5. 設置面が安定していて、水平な所に置いてご使用ください。斜めに置くとツーパーナーが倒れる恐れがあります。



禁止



⚠ 注意 安全のために必ずお守りください。

ガスカートリッジ(容器)とその取扱いについて

1. ガスカートリッジ(容器)に表示してある注意事項を良く読んでからご使用ください。

❗ 必ず行う

- 保管してあるガスカートリッジ(容器)はときどき点検してさびが発生している場合にはできるだけ早く使用してください。

❗ 必ず行う

- ガスカートリッジ(容器)にLPガスの再充填はできません。

🚫 禁止

2. ガスカートリッジ(容器)のガスを故意に吸い込むことは禁止。酸欠の原因となります。

🚫 禁止

3. ガスカートリッジ(容器)に、強い衝撃を与えないでください。変形するとツバーナーにセットできなったりガス漏れの原因となります。

🚫 禁止



4. ガス容器は、コールマンTタイプ専用ガスカートリッジ(容器)をご使用ください。容器が違いますと、ガス漏れなどの原因になります。容器に表示してある事項を良く読んでからご使用ください。

❗ 必ず行う

火災予防の注意

1. ツバーナーの下に段ボール紙など燃えやすいものや熱に弱いもの(ビニールクロス)を敷いたり通気のさまたげになるものを置かないでください。火災の原因となります。

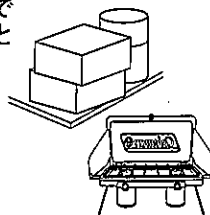
🚫 禁止



2. 上から物が落ちる恐れのある場所等で使用しないでください。火災の原因となります。

🚫 禁止

物が落ちる恐れのある場所



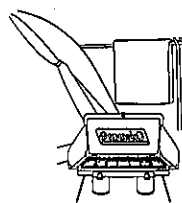
3. 火をつけたままの持ち運びは禁止。転倒するとやけどや火災の原因となります。

🚫 禁止



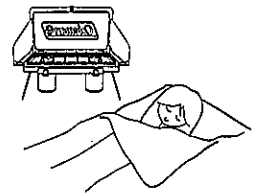
4. 燃えやすい物から上部1.2m、周囲は50cm以上離してご使用ください。特にテント、スリーピングバック、干してある洋服等の近くでは使用しないでください。

🚫 禁止



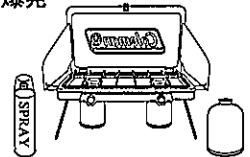
5. 火をつけたまま器具の使用場所を離れたり就寝しないでください。火災など思わぬ事故の原因となります。

🚫 禁止



6. ツバーナーを使用中、近くに予備のガスカートリッジ(容器)やヘアスプレーなどを放置しないでください。熱でスプレー缶等の圧力が上がり爆発の原因となります。

🚫 禁止



7. ヘアスプレーなど、引火のおそれのあるものを近くで使用しないでください。火災の原因となります。

🚫 禁止

ガス事故防止

1. ガスカートリッジ(容器)がセットされていて、着火していないのに器具栓ツマミが<OFF>以外の位置にあると、ガス漏れを起こし危険です。充分にご注意ください。

❗ 必ず行う

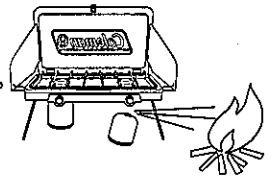
2. ガスカートリッジ(容器)は正しく装着してください。

- 本体下部のガスカートリッジ接合部にある“O”リングに損傷がないことを確認する。ガスカートリッジ(容器)を接合部分に対して垂直にして、自然に止まるまで右に回してください。正しくセットしないとガスが漏れて火災の原因となります。

❗ 必ず行う

- ガスカートリッジ(容器)の取り付け、取り外しの際には少量のガスが漏れます。周囲に使用中の燃焼器具や火の気がないことを確認してから行ってください。

🚫 禁止



3. 使用中、玉ねぎの腐ったようなにおいがしたら、ガス漏れを起こしています。すぐに換気を充分にしてください。LPガスは比重が重く下部にたまりやすくなります。ガス漏れに気付いたときは、絶対に火をつけたり電気製品のスイッチを入れたり、火気の使用をしないでください。引火による爆発の恐れがあります。

- 使用をやめガスカートリッジ(容器)をはずす。

🚫 火気禁止

4. 使用時の点火・使用後の消火のほか、使用中も時々、正常に燃焼していることを確認してください。

❗ 必ず行う



注意

安全のために必ずお守りください。

使用上の注意

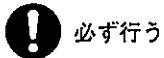
- ツーバーナーを衣類の乾燥や暖ぼう器具のかわりに使用しないでください。衣類が落下するなど火災の原因となります。



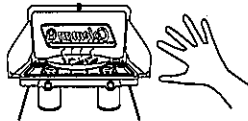
禁止



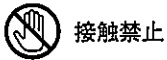
- 使用中や使用直後は、グレート(ごとく)・バーナー等は高温になっておりますので、手を触れないでください。やけどの原因となります。後片づけをする場合は、器具が完全に冷えてから行ってください。



必ず行う

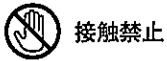


- 使用の際は特にお子様に注意してください。器具を保管する場合も幼児・子供等の手の届かない所に保管してください。



接触禁止

- 点火するときは炎が上がります。ツーバーナー上部におおいかぶらないようにしてください。



接触禁止

- 補助具はこの器具専用の付属品あるいはコールマン社指定のもの以外は使用しないでください。思わぬ事故の原因となります。



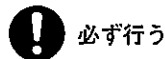
禁止

- 万一異常音、異常臭、赤火など起こした時や緊急の場合は、あわてず器具栓ツマミを右方向(OFF)に回して消火し、ガスカートリッジ(容器)を本体から取りはずしてください。



必ず行う

- 「故障・異常の見分け方と処置の方法」7ページを参照し指示に従ってください。



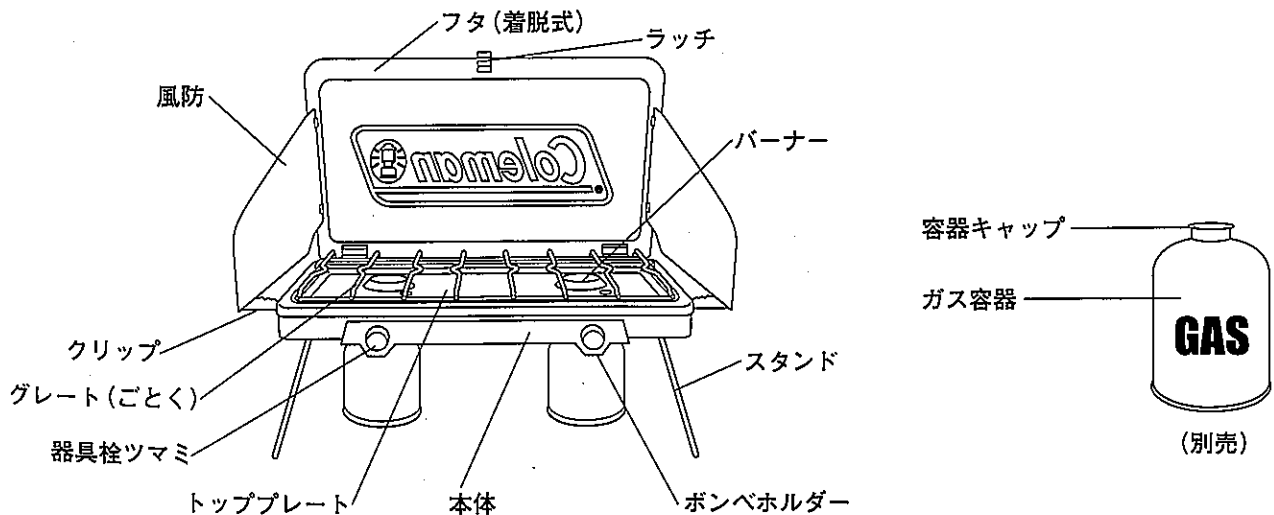
必ず行う

- ハイスタンド等に乗せて使用する時はしっかり固定されていることを確認してください。落下しますと思わぬ事故の原因となります。風や振動に注意してください。



注意

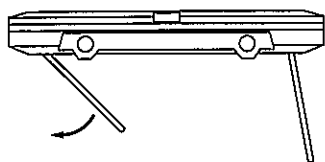
各部の名称



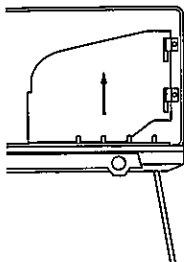
ご使用の手順とご注意

1. 準備する

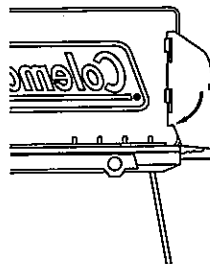
①本体の裏側に収納されている左右のスタンドを引き起こします。



②ラッチを押しながら、フタを開け、左右の風防を上にあげてから広げます。



③風防に付いているクリップを本体の側面の差し込み穴に差し込み固定します。



④グレート(ごとく)を上下反転させます。

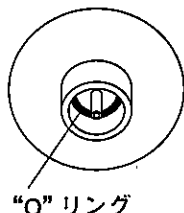
2. ガス容器をセットする

●器具栓ツマミを右の方向に回らなくなるまで回し完全に閉じていることを確認します。



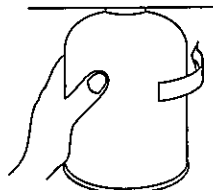
❗ 必ず行う

●本体下部のガスカートリッジ接合部にある“O”リングに損傷がないことを確認します。



“O”リング

●ガス容器を接合部分に対して垂直に矢印方向へ自然に止まるまで回し、容器を固定します。



⚠ 注意

●ガス容器がスムーズに回らない時は、正しくセットされていません。もう一度セットし直してください。

3. 点火する

- 器具栓ツマミを左の方向に回し、そのまま器具栓ツマミを「カチッ」と音がするまで回します。一回で点火しない場合は、その場で数回押し続けて点火してください。
- バーナーに点火したことを確認してください。
- 点火しにくい場合は、器具栓ツマミを右の方向に回してガスを止め、しばらく待った後、再度①の方法で点火してください。

❗ 必ず行う

点火



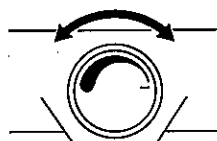
⚠ 注意

- ガスの勢いが強すぎたり、気温、風、湿度等の自然条件により点火がうまくいかない場合があります。この様な時はマッチ、ライター等で点火してください。
- 点火していないのに、器具栓ツマミを右の方向に回らなくなるまで回していないと、ガス漏れを起こし危険です。必ず点火を確認してください。

4. 火力を調節する

- 器具栓ツマミを回して、調理に合った火加減に調節します。
 - 器具栓ツマミを右の方向へ回すと→火力が弱まる
 - 左の方向へ回すと→火力が強まる
 - 中火、弱火にするときは→炎を確認しながら調節してください。

火力調整



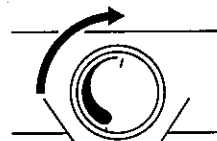
⚠ 注意

- 器具栓ツマミを急激に回すと、炎が消えることがありますので、ご注意ください。
- 炎を小さくすると風などで消えることがありますので、ご注意ください。
- 使用中は、ときどき正常に燃焼しているか確認してください。

5. 消火する

- 器具栓ツマミを右の方向に回らなくなるまで回すとガスが止まり、火が消えます。完全に消えたことを確認してください。

消火



⚠ 注意

- 器具栓ツマミは完全に右の方向に回らなくなるまで回してください。火が消えても完全に回っていないとガス漏れします。
- ガス容器を外した後も、コンロには微量のガスが残っています。危険防止のためもう一度点火し、残っているガスを燃やしてあげてください。その後、器具栓ツマミを完全に右方向に回らなくなるまで回してください。

❗ 必ず行う

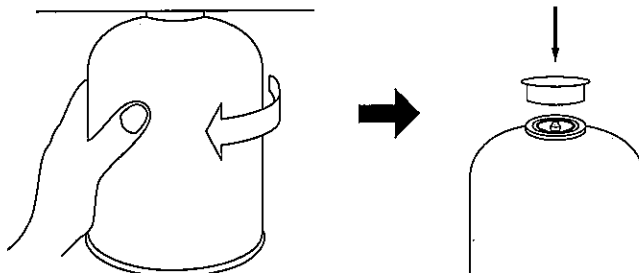
6. ガス容器を外し、保管する

△ 注意

- ① ガス容器を矢印方向へ回し、容器を取り外します。
- ② 取り外したガス容器は、必ず容器キャップをはめ、風通しの良い湿気の少ない室温40℃以下の所に保管してください。

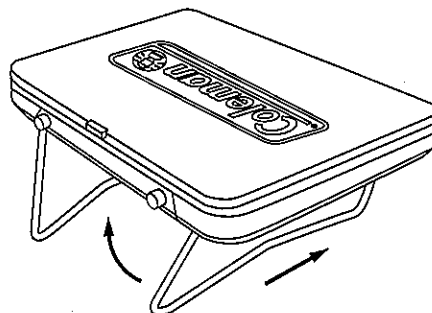
必ず容器キャップをはめて保管してください。

! 必ず行う



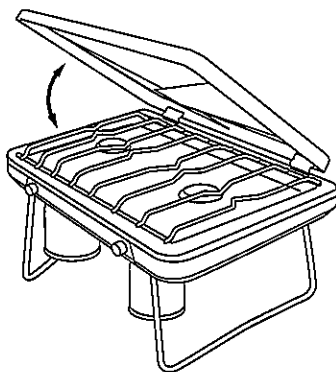
収納

使用后、コンロ全体が十分に冷めてから、ガス容器を取り外します。グレート（ごとく）をひっくり返し、風防を閉じフタを閉め、スタンドの前側をうしろに押しながらロックをはずしスタンドを収納します。又、長時間使用しない場合は、乾いた布でふいて、湿気の少ない場所に保管してください。

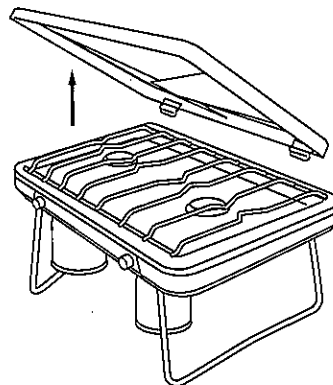


フタ・風防の外し方

45°ぐらい
フタを開く



45°ぐらい
フタを開いたまま
上へ引き上げる



仕様

商 品 名	パワーハウスLPツーパーナー
型 式	JCM-S201A
点 火 方 式	圧電点火式
外 形 寸 法 (幅×奥行×高さ)	約630mm×約335mm×約530mm (使用時)
重 量 (本 体)	約4.1kg
使 用 燃 料	コールマンTタイプ専用ガスカートリッジ
ガ ス 消 費 量	約290g/h
発 熱 量	約3,500kcal/h

日常の点検・お手入れの方法

- ご使用後はそのつど必ずお手入れをしてください。
- 点検・お手入れは、必ずガスカートリッジ(容器)を取り外して、ツバーナー本体が充分冷えてから行ってください。
- 故障または破損したと思われるものは、使用しないでください。ご家庭での修理は危険ですので、お買い求めの店までご連絡ください。

点検とお手入れのポイント

本体	バーナーおよびその周辺	汁受皿・グレート(ごとく)
<ul style="list-style-type: none"> ● 台所用合成洗剤(食器用・調理器具用)をしみこませた布で汚れを充分にとった後、お湯でしぼったきれいな布で、もう一度ふいてください。 ※シンナー、ベンジン、みがき粉、ナイロンタワシ、金属性のタワシなど、傷がつきやすいものは使用しないでください。 ※本体の丸洗いは絶対にしないでください。 	<ul style="list-style-type: none"> ● バーナーが穴づまりをおこすと、不完全燃焼をおこし危険です。穴が詰まって炎が不ぞろいになったときや汚れがひどいときは、金属ブラシや千枚通しなどで掃除してください。電極部の汚れは、点火不良の原因になります。乾いた布でふき取ってください。(この時、電極部の位置を動かさないようにしてください) 	<ul style="list-style-type: none"> ● 汁受皿・五徳を煮汁や油で汚れたままにしておくと、腐食を早めます。 ご使用のつど、乾いた布でふいてください。汚れがひどいときは、台所用合成洗剤(食器用・調理器具用)を適量使用し、汚れを落した後、水気の残らないよう乾いた布でふきとってください。

長時間使用しないとき

1. ガスカートリッジ(容器)をツバーナーから必ず取りはずし、もう一度点火してコンロ内部のガスを抜いてください。
 2. 汁受皿、本体などが汚れていないか、よく乾いているかを確認してください。
 3. コンロの各部が充分冷えてから、箱に入れ、湿気の少ない所に保管してください。
 4. ガスカートリッジ(容器)は、容器キャップをつけ、風通しのよい、湿気の少ない40℃以下の場所に保管してください。
- ※ 長期間ガスカートリッジ(容器)を保管していたり、保管状態が悪いとサビが発生し、ガスもれの原因となることがあります。ときどき点検してください。ガスカートリッジ(容器)は古いものから使用し、早めに使いきってください。

故障・異常の見分け方と処置の方法

- 気温やガスカートリッジ(容器)の温度が低い場合には、炎が小さくなるありますが、器具の異常ではありません。
- 連続燃焼(30分以上)されると、炎が小さくなるありますが、異常ではありません。

原因	症状								処置方法		
	ガスカートリッジ(容器)がセットできない	ガスが出ない	消火しない	ガスのおいがする	点火しにくい	点火しない	バーナーに火移りしない	火力が弱い		炎が不揃い	使用中に消火した
ガスカートリッジ(容器)の取り付け不良	○	○		○	○						ガスカートリッジ(容器)を説明書どおり取り付ける
器具栓の故障		○	○	○	○						点検・修理を依頼する
ノズルが詰まっている		○			○	○	○			○	点検・修理を依頼する
ガスがなくなっている(少なくなっている)		○			○	○	○			○	新しいガスカートリッジ(容器)に取り替える
電極部の流れ					○						汚れをふきとる
バーナーの目づまり					○	○	○	○	○	○	金属ブラシ等で掃除する
点火操作が適切でない					○						正しい点火操作をする
点火装置の故障					○						点検・修理を依頼する

パワーハウス LPツバーナーコンロ 保証書

型名：JCM-S201A

保証期間		お買い上げより1年	
※お買い上げ日		平成 年 月 日	
※ お客様	ご住所 ご芳名	様 TEL:	
※ 販売店	住所 店名	TEL:	

ご販売店様へ※印欄は、必ず記入してお渡してください。

この保証書は、本書記載内容で無料修理を行うことをお約束するものです。お買い上げ日から上記期間中故障が発生した場合は、本書を提示の上、お求めの販売店に修理をご依頼ください。

〈無料修理規定〉

- 取扱説明書、本体注意ラベル等の注意書きにしたがった正常な使用方法で故障した場合は、お買い上げ販売店が無料修理いたします。
- 保証期間内に故障して無料修理をお受けになる場合には商品と本書をご持参の上、お買い上げ販売店に依頼してください。なお、離島及び離島に準ずる遠隔地への出張修理を行った場合には出張に要する実費を申し受けます。
- ご贈答品もしくは、ご転居等の理由で本保証書に記入してあるお買い上げ販売店に修理をご依頼できない場合には、直接当社にお問い合わせください。
- 保証期間内でも次の場合には有料修理になります。
 - (イ) 使用上の誤り、及び不当な修理や改造による故障及び損傷。
 - (ロ) 火災、地震、水害、落雷、その他天災地変、公害等の故障及び、損傷並びに消耗部品の取り替え。
 - (ハ) 指定外の燃料の使用による故障及び損傷。
 - (ニ) 本書の提示のない場合。
 - (ホ) 本書にお買い上げ日、お客様名、販売店名の記入のない場合、或いは字句を書き換えられた場合。
 - (ヘ) 一般家庭用以外（例えば業務用の長時間使用、車両、船舶への搭載）に使用された場合の故障及び損傷。
 - (ト) お買い上げ後の転倒、落下等による故障及び損傷。

5. 本書は日本国内においてのみ有効です。

This warranty is valid only in Japan.

※この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理を行うことをお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理についてご不明な場合は、お買い上げ販売店又は、当社カスタマーサービス部にお問い合わせください。

※保証期間経過後の修理、補修用性能部品の保有等については、当社カスタマーサービス部にお問い合わせください。

修理メモ

発売元: **コールマン ジャパン株式会社**

〒103-0015 東京都中央区日本橋箱崎町5-14 JBP 箱崎ビル2F TEL.03-3668-5041
商品のお問合せについては、右記へご連絡ください。フリーダイヤル 0120-111-957